

特集

中学生の「思い」

～常総市少年の主張大会～



少年の主張大会は、市内の中学生が、学校生活や日常生活で感じた自身の思いを述べることにより自他の成長の機会とすること等を目的に、開催されています。

例年は、地域交流センターで開催していましたが、今年度は新型コロナウイルスの影響により、初めての動画審査の形で開催されました。

最優秀賞を受賞したメンディスさんの主張内容をご紹介します。

◆問い合わせ＝☎生涯学習課(内線8430)

笑顔いっぱいの世界へ

常総市立石下西中学校 1年 メンディス シナリ

「学校に行きたくなくて、苦しくて、泣いていた。」

そう話していたのは、私が「あにき」と呼んでいるお兄ちゃんのような存在の人です。あにきはスリランカと日本のハーフです。

あにきは昔、スリランカから日本に、引っ越してきました。はじめは全く日本語が話せませんでした。みんなと友達になりたくて、必死に日本語を勉強したそうです。しかし、学校に通い始めると、あにきはみんなと見た目が違うという理由で差別され、それがいじめへとつながってしまいました。話しかけても無視されたり、「近づくな。」とひどい言葉を言われたり殴られたり。苦しくて、悲しくて、泣いていたそうです。そしてとうとう、あにきは学校を休むようになりました。親にも心配をかけたくなって、何も言えなかったそうです。「僕は何もしていない。肌の色がみんなと違う、それだけ。肌の色が違うというのがそれほど重要なのか。肌の色が違うからと差別され、いじめられないといけないのか。」あにきは、そう訴えていました。

なんで、まだまだ幼い子どもがこんな苦しい思いをすることになってしまったのでしょうか。その人が何を考えているかを知らないで悪く思ってしまい、それがいじめへとつながってしまったのではないかと私は思いました。このことを一言で表すなら「偏見」でしょうか。だれかが作った、根拠も全くない偏見のせいで、あにきは傷つき、苦しんだのです。あにきは本当の自分をわかってもらえなくて、誤解されたままになってしまったのです。なので、見た目だけこういう人だなど決めつけてしまうのではなく、その人が本当に思っていることを知ることが大切だと私は考えました。そして、相手のことを知るにはお互いに、「コミュニケーション」が必要だと思います。コミュニケーションを通して、お互いに、困っていたら助けるなど信頼できる関係が築けたら、このような誰かが苦しんだり悲しんだりすることが、



優秀賞（市議会議長賞）

新東 星乃

（石下西中2年）

「自分の人生を生きる」

最優秀賞（市長賞）

メンデイス シナリ

（石下西中1年）

「笑顔いっぱいの世界へ」

優秀賞（市教育長賞）

染谷 瑞稀

（水海道西中2年）

「人を頼ること」



最優秀賞（市長賞）を受賞した
メンデイスさんの発表の様子



「初めての動画審査となった大会だったが、子ども達の成長を実感できる大会だった。感動した。」と市長が講評を行いました。

起こらなかったのではないのでしょうか。

実は私自身も、うまく関係を築けずに、悩んでいたことがありました。それは私がまだ新しい塾に通い始めて一ヶ月もたっていない頃です。私には、塾での友達が一人もいませんでした。でも、まわりの人はみんな友達とおしゃべりしていて、すごく楽しそうで、私も友達がほしいと思うようになりました。しかし、勇気がなく、自分から話しかけることができませんでした。私は、このままでは嫌だと感じ、勇気を出して、塾の廊下を歩いていた一人の女の子に声をかけました。

「あ、あの、お名前を聞いてもいいですか。」

私はドキドキしながら言いました。すると、女の子は笑顔で質問に答えてくれました。それからは、いろいろな話をしてお互いのことをたくさん知ることができました。そして、塾がある日はいつも、その女の子としゃべるくらい仲良くなりました。実は女の子も友達がなくて、誰かとずっと友達になりたいと思っていたのに、勇気がなかったそうです。あの時、自分から声をかけて本当によかったなと思っています。この経験から、自分から話しかける大切さを心に強く感じました。確かにすごく勇気はいるけれど、たった一回、その勇気をもって行動に移すことができれば、自分が想像していたものの何倍も大きな幸せを手に入れることができるのです。

誰かと肌の色が違う。目の色が違う。人間に普通などありません。全く同じ人間など存在していません。みんなどこか少しずつ違って、多くのことを考えて生きています。それが人間なのです。私はだれも悲しんだり苦しんだりしない世界になってほしいとずっと願っています。それが、どれだけ難しく、大変なことでも、一人一人がそれを意識すれば世界は変わると思います。

まずは一歩、相手を知るため、自分を変えるために、勇気を出してみてください。差別や偏見、いじめをなくしてみんなが笑顔いっぱいで暮らせる世界にしていきませんか。